

IV 第 57 回市政に関する世論調査の結果

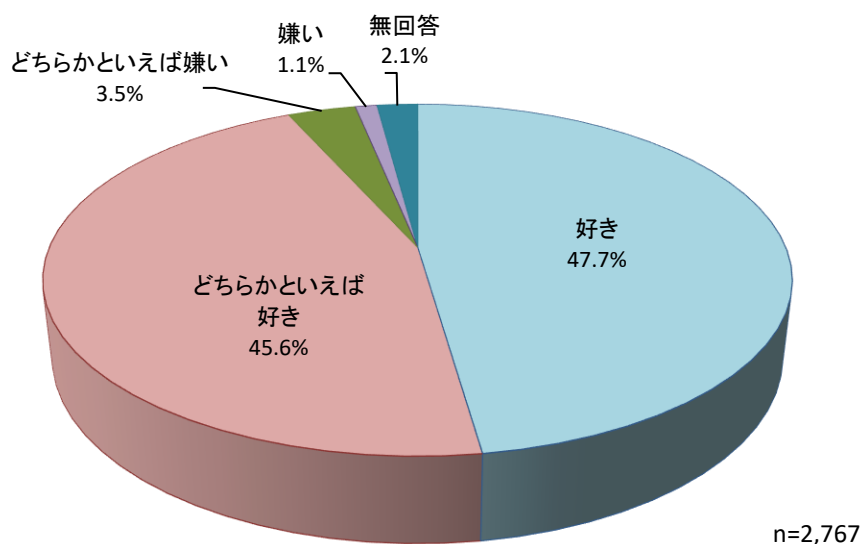
1. 宇都宮市に対する感じ方について

(1) 宇都宮市の好き・嫌い

◇「好き」と「どちらかといえば好き」を合わせた【好き（計）】が 9 割強

問 1	宇都宮市を好きですか、それとも嫌いですか。	(○は 1 つ)
		n=2,767
1	好き	47.7%
2	どちらかといえば好き	45.6%
3	どちらかといえば嫌い	3.5%
4	嫌い	1.1%
	(無回答)	2.1%

<図Ⅳ－１－１>全体



宇都宮市を好きか、嫌いかを聞いたところ、「好き」が 47.7%、「どちらかといえば好き」が 45.6%で、これらを合わせた【好き（計）】が 93.3%であった。一方、「どちらかといえば嫌い」が 3.5%、「嫌い」が 1.1%で、これらを合わせた【嫌い（計）】が 4.6%と 1 割に満たなかった。(図Ⅳ－１－１)

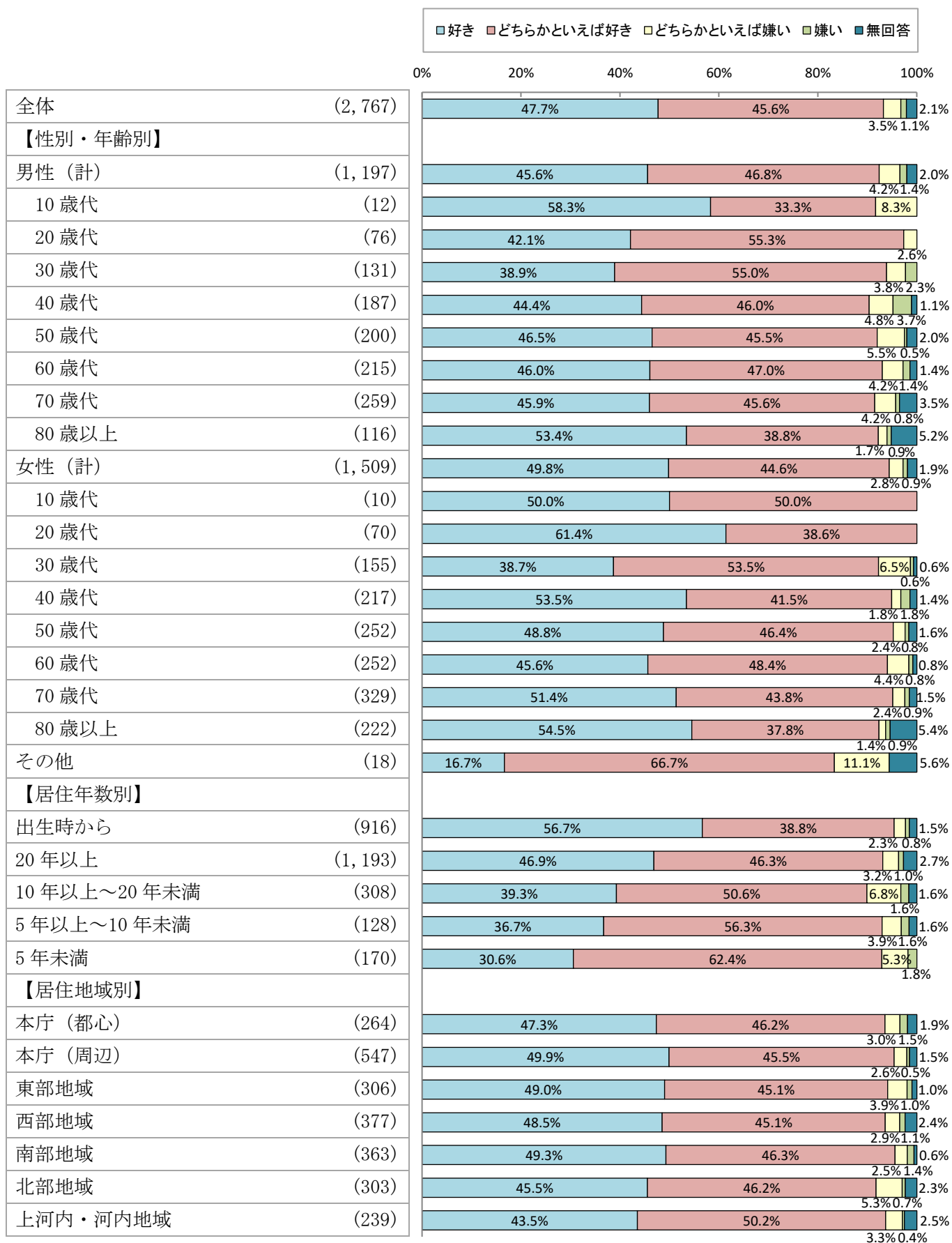
<参考>

性別・年齢別で見ると、【好き（計）】は<女性 10・20 歳代>がいずれも 100.0%、<男性 20 歳代>が 97.4%であった。【好き（計）】は、いずれの性別・年齢別で約 9 割を超えていた。一方、【嫌い（計）】は<その他>を除くと、<男性 40 歳代>が 8.5%で最も高く、次いで<男性 10 歳代>が 8.3%、<女性 30 歳代>が 7.1%と続いた。(図Ⅳ－１－２)

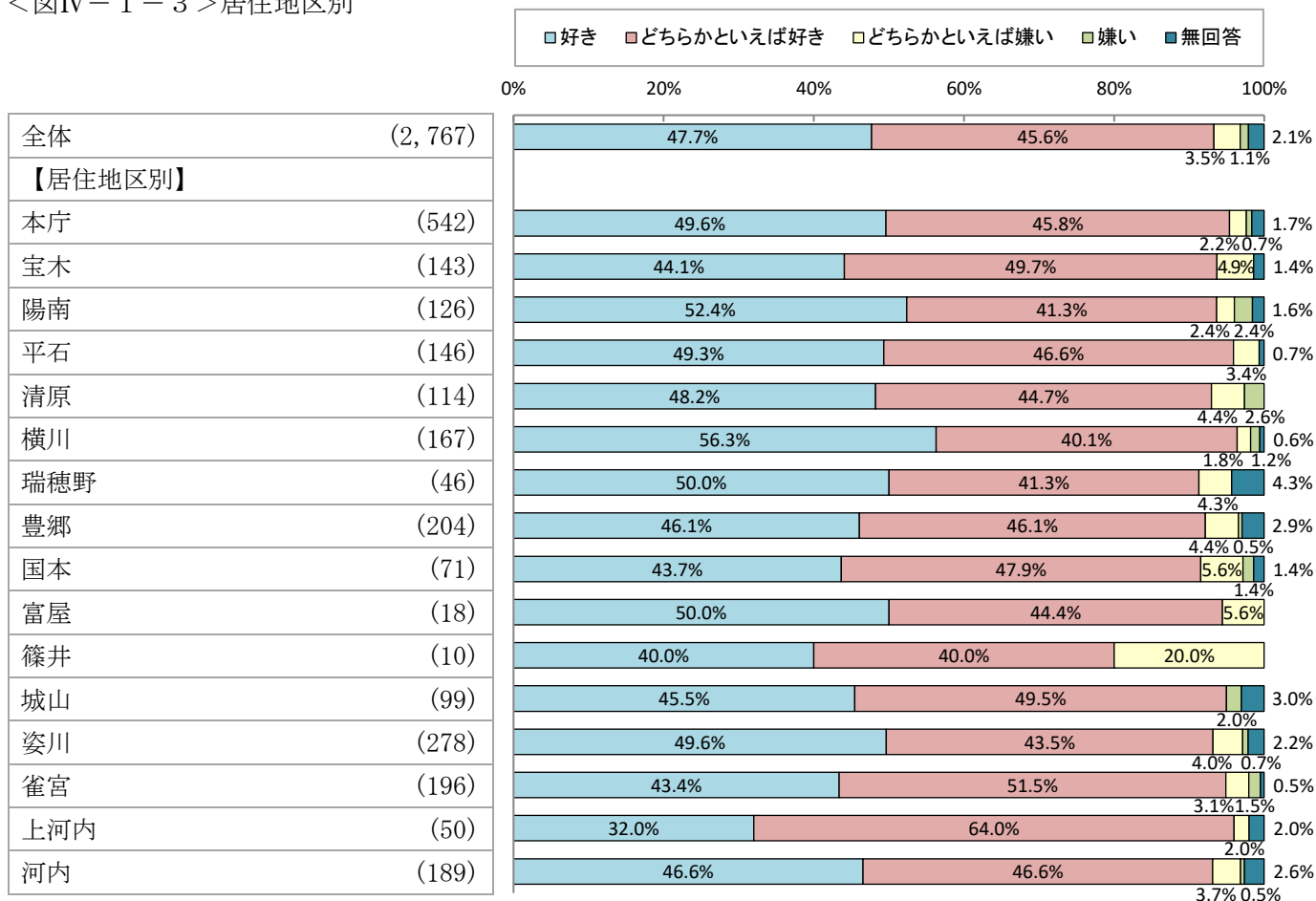
居住年数別で見ると、【好き（計）】は<出生時から>が 95.5%で最も高く、次いで<20 年以上>が 93.2%であった。一方、【嫌い（計）】は<10 年以上～20 年未満>が 8.4%で最も高く、次いで<5 年未満>が 7.1%であった。(図Ⅳ－１－２)

居住地域別で見ると、【好き（計）】は<南部地域>が 95.6%で最も高く、次いで<本庁(周辺)>が 95.4%であった。一方、【嫌い（計）】は<北部地域>が 6.0%で最も高く、次いで<東部地域>が 4.9%であった。(図Ⅳ－１－２)

<図Ⅳ－１－２>性別・年齢別／居住年数別／居住地域別



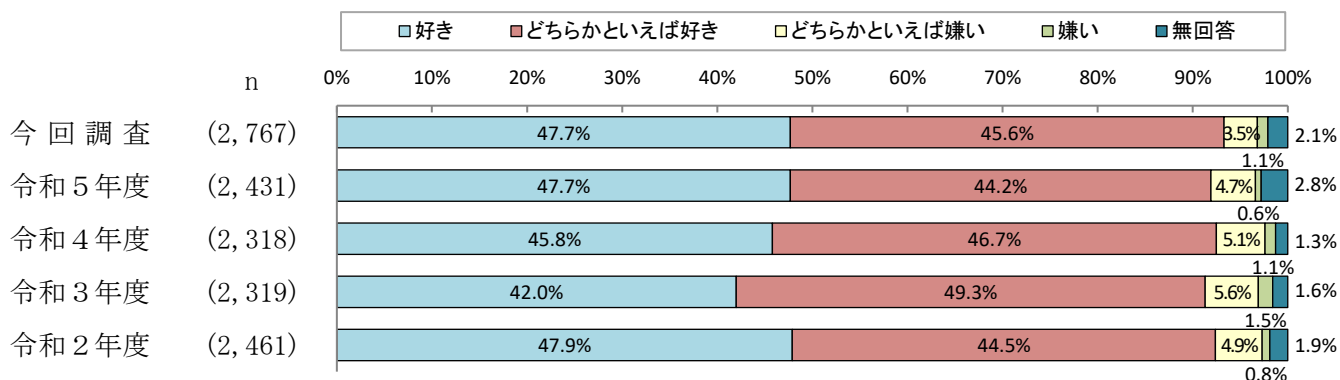
<図Ⅳ－１－３>居住地区別



【経年比較】

選択項目	好き	どちらかといえば好き	どちらかといえば嫌い	嫌い	無回答
令和6年度	47.7%	45.6%	3.5%	1.1%	2.1%
令和5年度	47.7%	44.2%	4.7%	0.6%	2.8%
令和4年度	45.8%	46.7%	5.1%	1.1%	1.3%
令和3年度	42.0%	49.3%	5.6%	1.5%	1.6%
令和2年度	47.9%	44.5%	4.9%	0.8%	1.9%

<図Ⅳ－１－４>経年比較



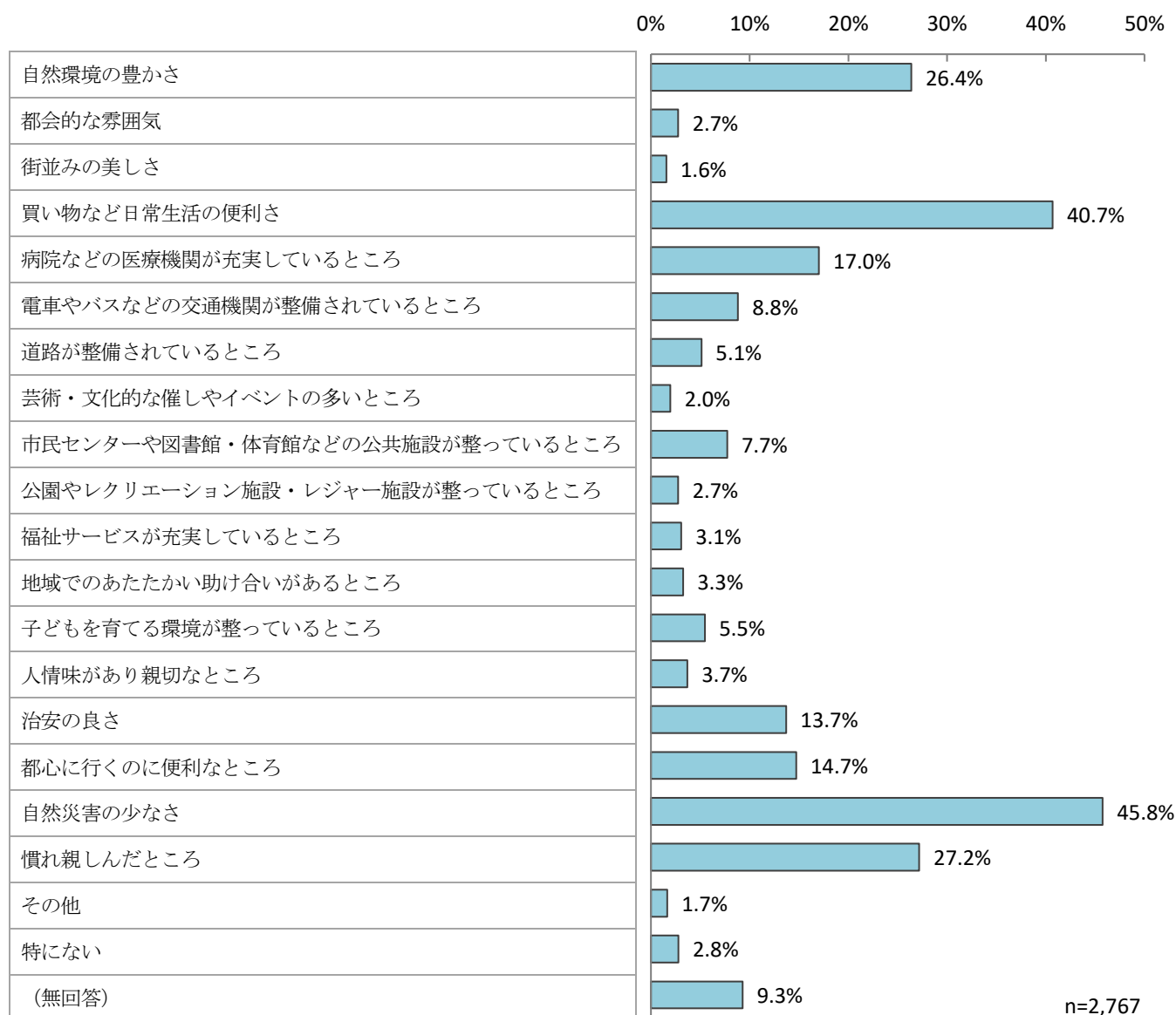
【好き（計）】及び【嫌い（計）】については、過去4年間と比較して、特に大きな違いはみられない。
 (図Ⅳ－１－４)

(2) 好きな理由

◇「自然災害の少なさ」が4割半ば

問2	宇都宮市の好きだと思うところをあげてください。	(○は3つまで)
		n=2,767
1	自然環境の豊かさ	26.4%
2	都会的な雰囲気	2.7%
3	街並みの美しさ	1.6%
4	買い物など日常生活の便利さ	40.7%
5	病院などの医療機関が充実しているところ	17.0%
6	電車やバスなどの交通機関が整備されているところ	8.8%
7	道路が整備されているところ	5.1%
8	芸術・文化的な催しやイベントの多いところ	2.0%
9	市民センターや図書館・体育館などの公共施設が整っているところ	7.7%
10	公園やレクリエーション施設・レジャー施設が整っているところ	2.7%
11	福祉サービスが充実しているところ	3.1%
12	地域でのあたたかい助け合いがあるところ	3.3%
13	子どもを育てる環境が整っているところ	5.5%
14	人情味があり親切なところ	3.7%
15	治安の良さ	13.7%
16	都心に行くのに便利なところ	14.7%
17	自然災害の少なさ	45.8%
18	慣れ親しんだところ	27.2%
19	その他	1.7%
20	特にない	2.8%
	(無回答)	9.3%

<図Ⅳ－１－５>全体



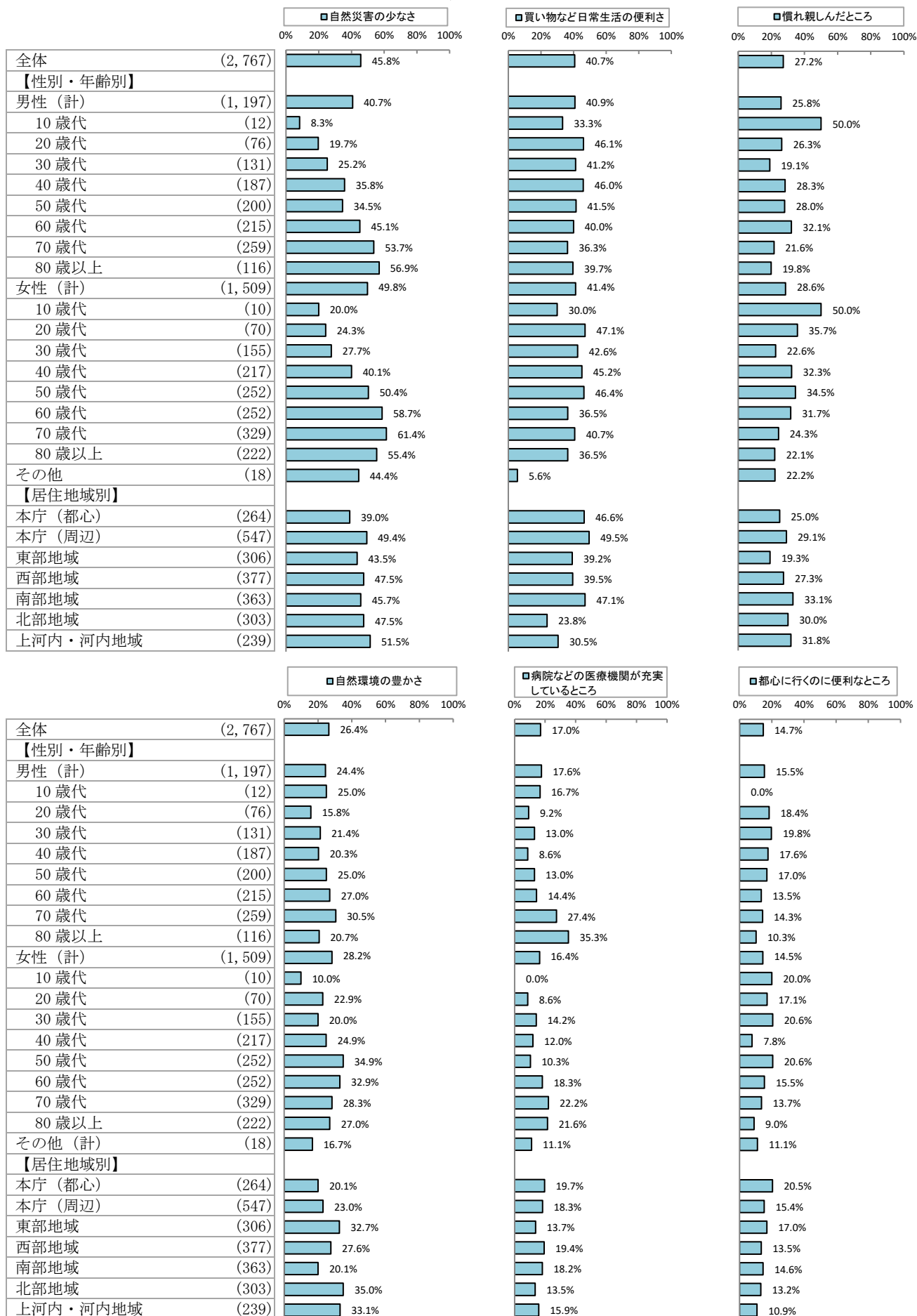
宇都宮市で好きだと思うところについて、1位が「自然災害の少なさ」で45.8%、2位「買い物など日常生活の便利さ」が40.7%、3位「慣れ親しんだところ」が27.2%、4位「自然環境の豊かさ」が26.4%、5位「病院などの医療機関が充実しているところ」が17.0%、6位「都心に行くのに便利なおところ」が14.7%であった。(図Ⅳ－１－５)

<参考>

上位6項目について性別・年齢別でみると、「自然災害の少なさ」は<女性 70 歳代>が61.4%で最も高く、次いで<女性 60 歳代>が58.7%であった。「買い物など日常生活の便利さ」は<女性 20 歳代>が47.1%で最も高く、次いで<女性 50 歳代>が46.4%であった。「慣れ親しんだところ」は<男性・女性 10 歳代>がいずれも50.0%で最も高く、次いで<女性 20 歳代>が35.7%であった。「自然環境の豊かさ」は<女性 50 歳代>が34.9%で最も高く、次いで<女性 60 歳代>が32.9%であった。「病院などの医療機関が充実しているところ」は<男性 80 歳以上>が35.3%で最も高く、次いで<男性 70 歳代>が27.4%であった。「都心に行くのに便利なおところ」は<女性 30・50 歳代>がいずれも20.6%で最も高く、次いで<女性 10 歳代>が20.0%であった。(図Ⅳ－１－６)

居住地域別でみると、「自然災害の少なさ」は、各地域で約4割を超えた。「買い物など日常生活の便利さ」は<本庁(周辺)>が49.5%、「慣れ親しんだところ」は<南部地域>が33.1%、「自然環境の豊かさ」は<北部地域>が35.0%、「病院などの医療機関が充実しているところ」は<本庁(都心)>が19.7%、「都心に行くのに便利なおところ」は<本庁(都心)>が20.5%で最も高かった。(図Ⅳ－１－６)

<図Ⅳ－１－６>性別・年齢別／居住地域別(上位6項目)

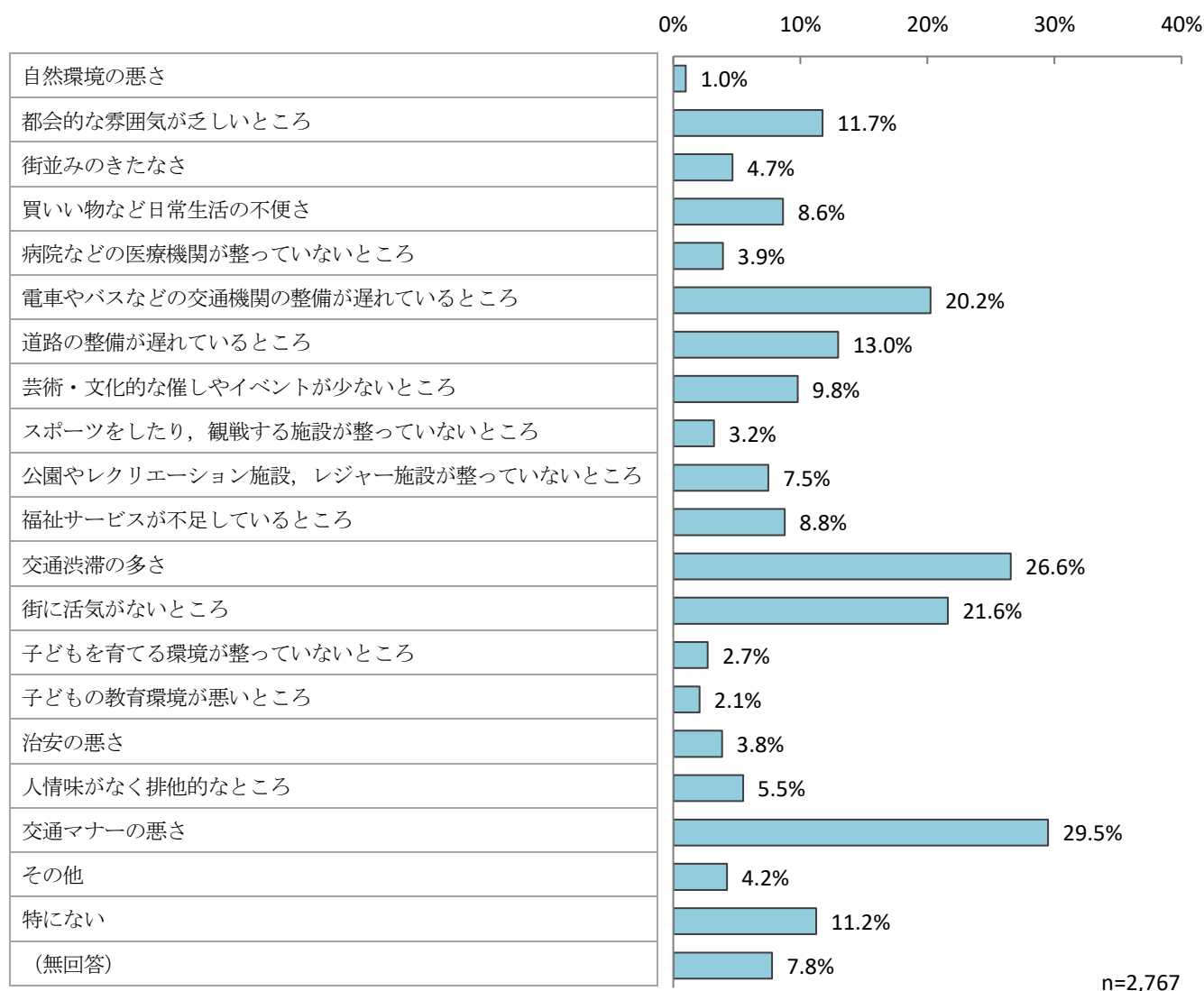


(3) 嫌いな理由

◇「交通マナーの悪さ」が約3割

問3 宇都宮市の嫌いだと思うところをあげてください。(〇は3つまで)	
	n=2,767
1 自然環境の悪さ	1.0%
2 都会的な雰囲気が乏しいところ	11.7%
3 街並みのきたなさ	4.7%
4 買い物など日常生活の不便さ	8.6%
5 病院などの医療機関が整っていないところ	3.9%
6 電車やバスなどの交通機関の整備が遅れているところ	20.2%
7 道路の整備が遅れているところ	13.0%
8 芸術・文化的な催しやイベントが少ないところ	9.8%
9 スポーツをしたり、観戦する施設が整っていないところ	3.2%
10 公園やレクリエーション施設、レジャー施設が整っていないところ	7.5%
11 福祉サービスが不足しているところ	8.8%
12 交通渋滞の多さ	26.6%
13 街に活気がないところ	21.6%
14 子どもを育てる環境が整っていないところ	2.7%
15 子どもの教育環境が悪いところ	2.1%
16 治安の悪さ	3.8%
17 人情味がなく排他的なところ	5.5%
18 交通マナーの悪さ	29.5%
19 その他	4.2%
20 特にない	11.2%
(無回答)	7.8%

<図Ⅳ－１－７>全体



宇都宮市の嫌いだと思うところについては、1位が「交通マナーの悪さ」で29.5%、2位「交通渋滞の多さ」が26.6%、3位「街に活気がないところ」が21.6%、4位「電車やバスなどの交通機関の整備が遅れているところ」が20.2%、5位「道路の整備が遅れているところ」が13.0%、6位「都会的な雰囲気が乏しいところ」が11.7%であった。(図Ⅳ－１－７)

<参考>

上位6項目について性別・年齢別でみると、「交通マナーの悪さ」は<女性30歳代>が36.8%で最も高く、次いで<女性50歳代>が36.5%であった。「交通渋滞の多さ」は<男性30歳代>が48.1%で最も高く、次いで<男性40歳代>が40.1%であった。「街に活気がないところ」は<女性70歳代>が29.5%で最も高く、次いで<男性70歳代>が28.2%であった。「電車やバスなどの交通機関の整備が遅れているところ」は<女性40歳代>が33.2%で最も高く、次いで<女性10歳代>が30.0%であった。「道路の整備が遅れているところ」は<男性30歳代>が18.3%で最も高く、次いで<男性60歳代>が17.2%であった。「都会的な雰囲気が乏しいところ」は<女性20歳代>が24.3%で最も高く、次いで<男性20歳代>が22.4%であった。

(図Ⅳ－１－８)

上位6項目について居住地域別でみると、「交通マナーの悪さ」は<本庁(周辺)>が32.5%、「交通渋滞の多さ」は<東部地域>が32.0%、「街に活気がないところ」は<本庁(周辺)>が23.6%、「電車やバスなどの交通機関の整備が遅れているところ」は<上河内・河内地域>が24.7%、「道路の整備が遅れているところ」は<上河内・河内地域>が15.5%、「都会的な雰囲気が乏しいところ」は<北部地域>が13.5%でそれぞれ最も高かった。(図Ⅳ－１－８)

<図Ⅳ－１－８>性別・年齢別／居住地域別(上位 6 項目)

